

**2026年3月期  
第2四半期(中間期)  
決算説明資料**

**2025年11月26日(水)**

**オーウエル株式会社**

**証券コード:7670**

# 目次

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 1. 会社概要                        | 2  |
| 2. 2026年3月期第2四半期(中間期)<br>決算概要  | 7  |
| 3. 中期経営計画 <b>M/P</b> 24-26 の進捗 | 14 |
| 4. 2026年3月期 連結業績予想と配当          | 25 |
| Appendix                       | 30 |

---

# 1. 会社概要

---

# 会社概要

1943年、大阪で3社の塗料販売店が合併し「近江屋興業株式会社」として設立

|         |   |
|---------|---|
| 商号      | オーウエル株式会社 / O-WELL CORPORATION  |
| 設立      | 1943年11月  |
| 所在地     | <ul style="list-style-type: none"><li>■ 本社：大阪市西淀川区御幣島5-13-9</li><li>■ 東京店：東京都品川区北品川3-6-17</li></ul> |
| 資本金     | 8億5,786万円   |
| 代表者     | 代表取締役社長 川戸 康晴   |
| 事業セグメント | <ul style="list-style-type: none"><li>■ コーティング関連事業</li><li>■ エレクトロニクス関連事業</li></ul>                 |
| 従業員数    | 連結：619名（2025年3月末現在） [平均臨時雇用人員：109名]   |
| 関係会社    | <ul style="list-style-type: none"><li>■ 子会社：16社（うち連結子会社15社）</li><li>■ 持分法適用関連会社：4社</li></ul>        |

# 拠点

## 国内

46拠点※



## 海外

13拠点※



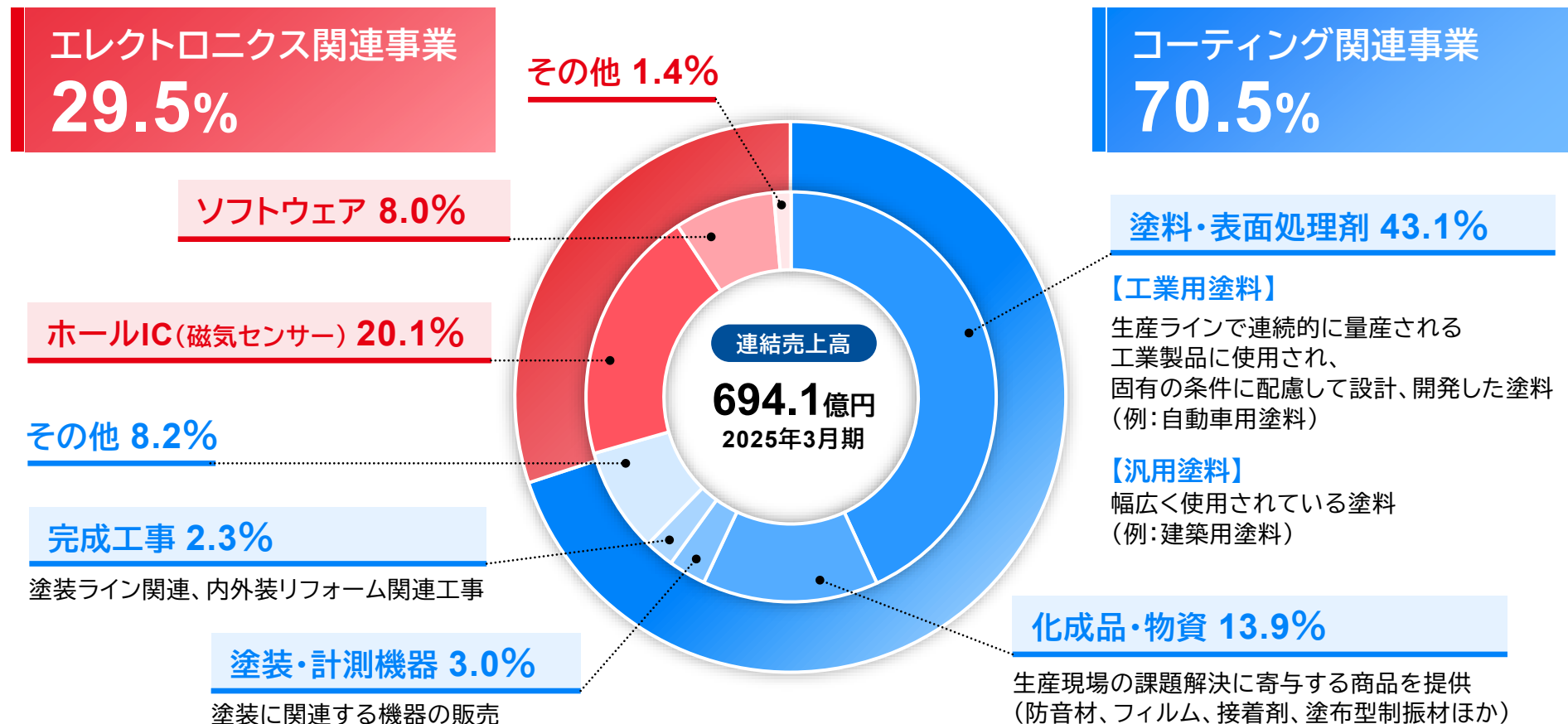
## グループ会社

|                      |  |
|----------------------|--|
| サンマルコ株式会社            | 塗装工事、防水工事、ガラス工事、<br>内装仕上工事等の請負及び設計・監理    |
| オーウエルスーパービルド<br>株式会社 | 塗装工事、土木工事、とび・土工工事等の請負<br>及び設計・監理         |
| オー・エー・シー株式会社         | 建設機械、産業用ロボット等の塗装請負                       |
| 株式会社<br>オーウエルカラーセンター | 塗料の調色請負・塗板見本の製作受託                        |
| 大洋ケミカル株式会社           | 塗料の調色請負                                  |
| 明豊商事株式会社             | 塗料の販売                                    |
| ユニ電子株式会社             | ソフトウェア・半導体・集積回路・電子部品・<br>産業機器・化成品の販売・輸出入 |

|        |  |
|--------|--|
| 中国     | 奥唯(大連)貿易有限公司、奥唯(深圳)科技貿易有限公司                            |
| 韓国     | O-WELL KOREA CORPORATION                               |
| インドネシア | PT. O WELL INDONESIA                                   |
| タイ     | O-WELL (THAILAND) CO., LTD.                            |
| ベトナム   | O-WELL VIETNAM CO., LTD.                               |
| メキシコ   | O-WELL MEXICO COATINGS & ELECTRONICS S.A. DE C.V.      |
| インド    | O-WELL INDIA COATINGS & ELECTRONICS PRIVATE<br>LIMITED |
| 香港     | UNI-ELECTRONICS (HONG KONG) LTD.                       |

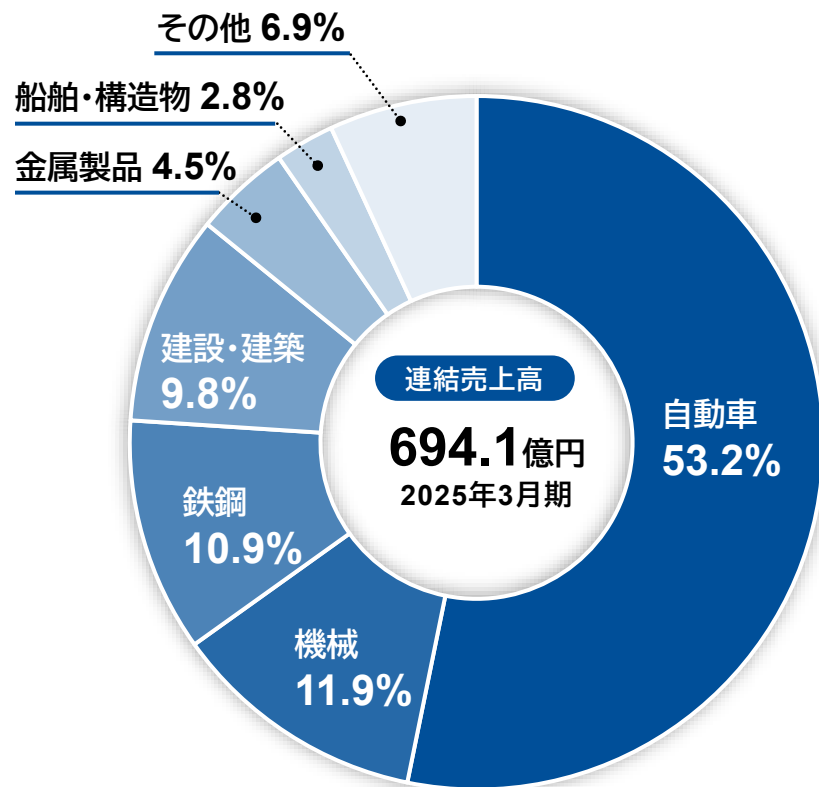
※営業所、子会社、子会社の支店及び工場等の拠点を含む

# 売上構成【事業・製品別】



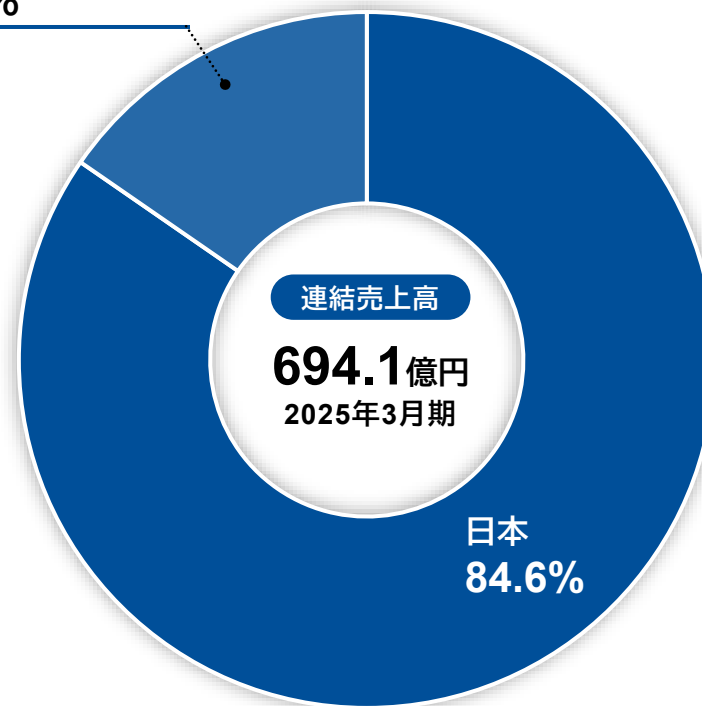
# 売上構成【業種別・地域別】

## 業種別



## 地域別

海外(アジア、北米・中米他)  
15.4%



---

## **2. 2026年3月期第2四半期(中間期) 決算概要**

---



# 2026年3月期第2四半期(中間期) 連結業績

自動車業界をはじめとしたお客様の減産の影響を受けるも、大型塗装設備の完工等により売上高、利益ともに前年実績並みの着地となった

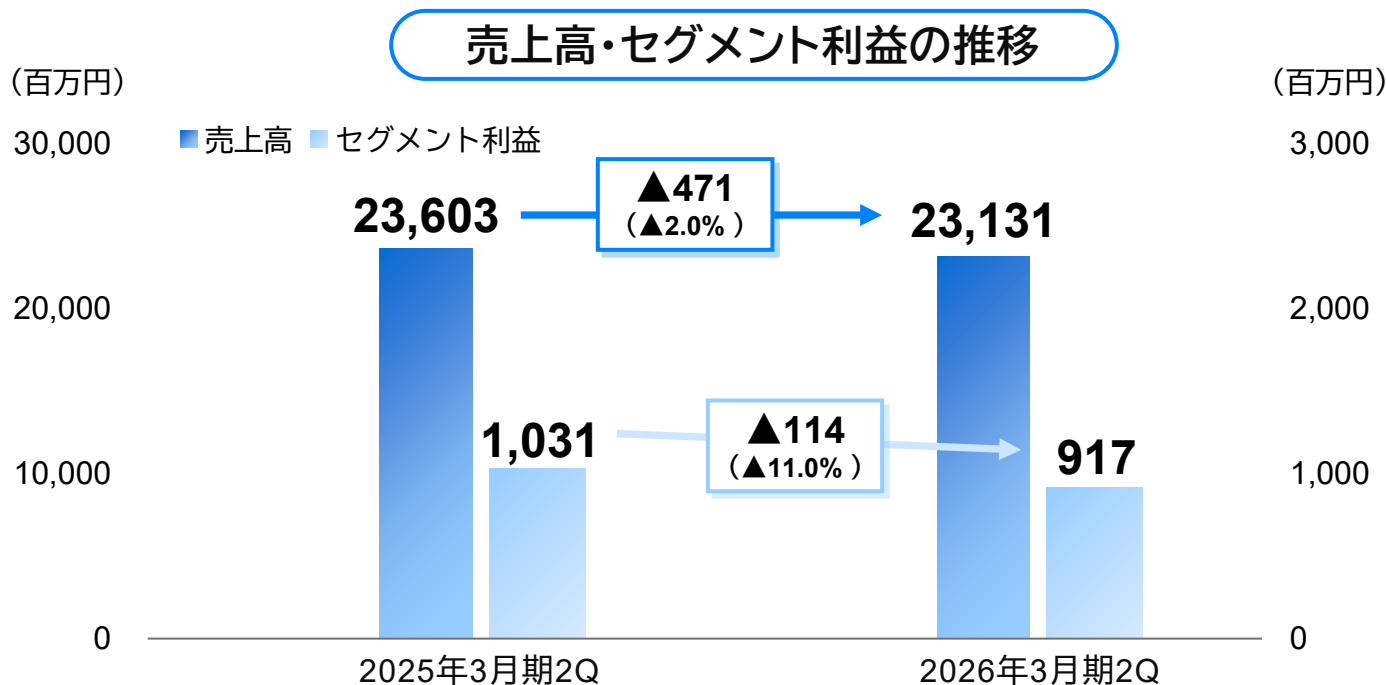
|                     | 2025年<br>3月期2Q<br>実績 | 2026年<br>3月期2Q<br>実績 | 増減額<br>(増減率)      | 2026年<br>3月期2Q<br>予想 | 差額<br>(達成率)       |
|---------------------|----------------------|----------------------|-------------------|----------------------|-------------------|
| 売上高                 | 34,241               | <b>33,178</b>        | ▲1,063<br>(▲3.1%) | 35,000               | ▲1,821<br>(94.8%) |
| 営業利益                | 403                  | <b>397</b>           | ▲6<br>(▲1.5%)     | 400                  | ▲2<br>(99.4%)     |
| 経常利益                | 544                  | <b>510</b>           | ▲34<br>(▲6.2%)    | 550                  | ▲39<br>(92.8%)    |
| 親会社株主に帰属する<br>中間純利益 | 373                  | <b>384</b>           | +11<br>(+3.0%)    | 400                  | ▲15<br>(96.0%)    |
| 一株当たりの<br>中間純利益(円)  | 36.45                | <b>38.22</b>         | +1.77<br>(-)      | 39.10                | ▲0.88<br>(-)      |

(百万円)

# 2026年3月期第2四半期(中間期) セグメント別業績

## コーティング関連事業

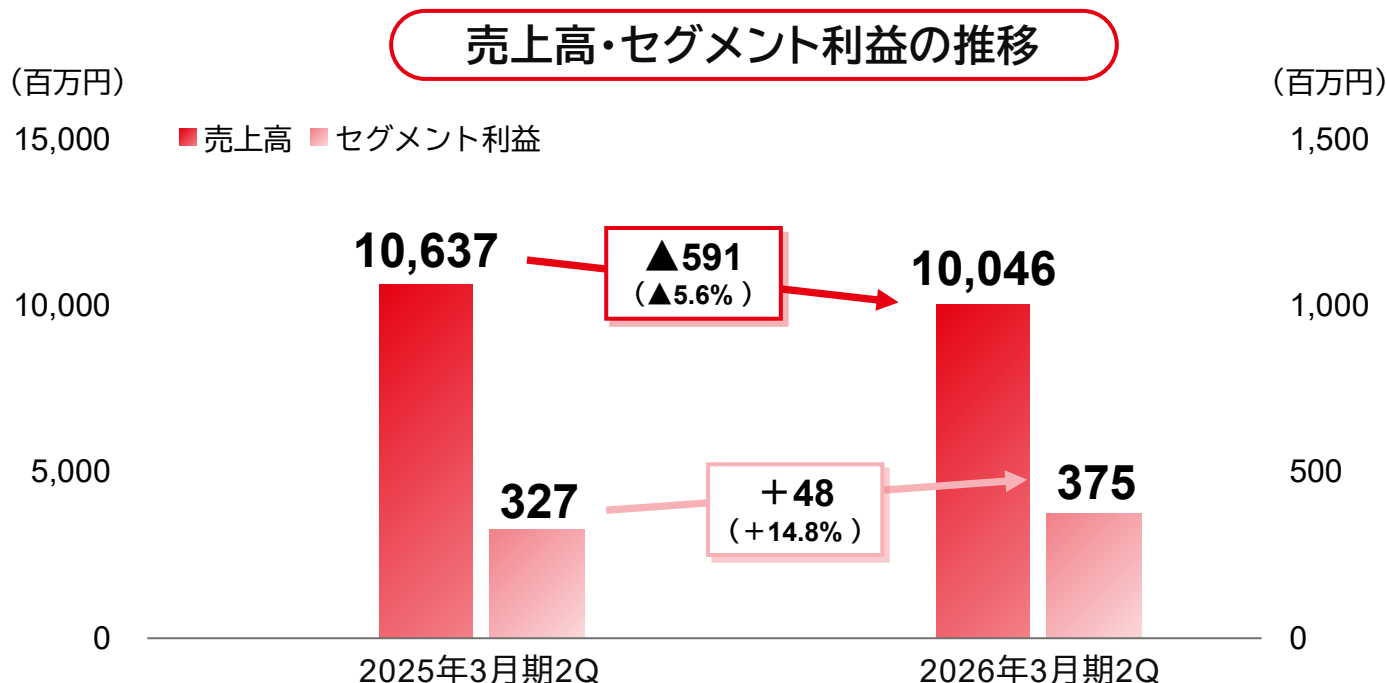
大型塗装設備完工により完成工事高が増加したが、自動車業界における国内生産台数や鉄鋼、建設機械等の生産減により減収減益



# 2026年3月期第2四半期(中間期) セグメント別業績

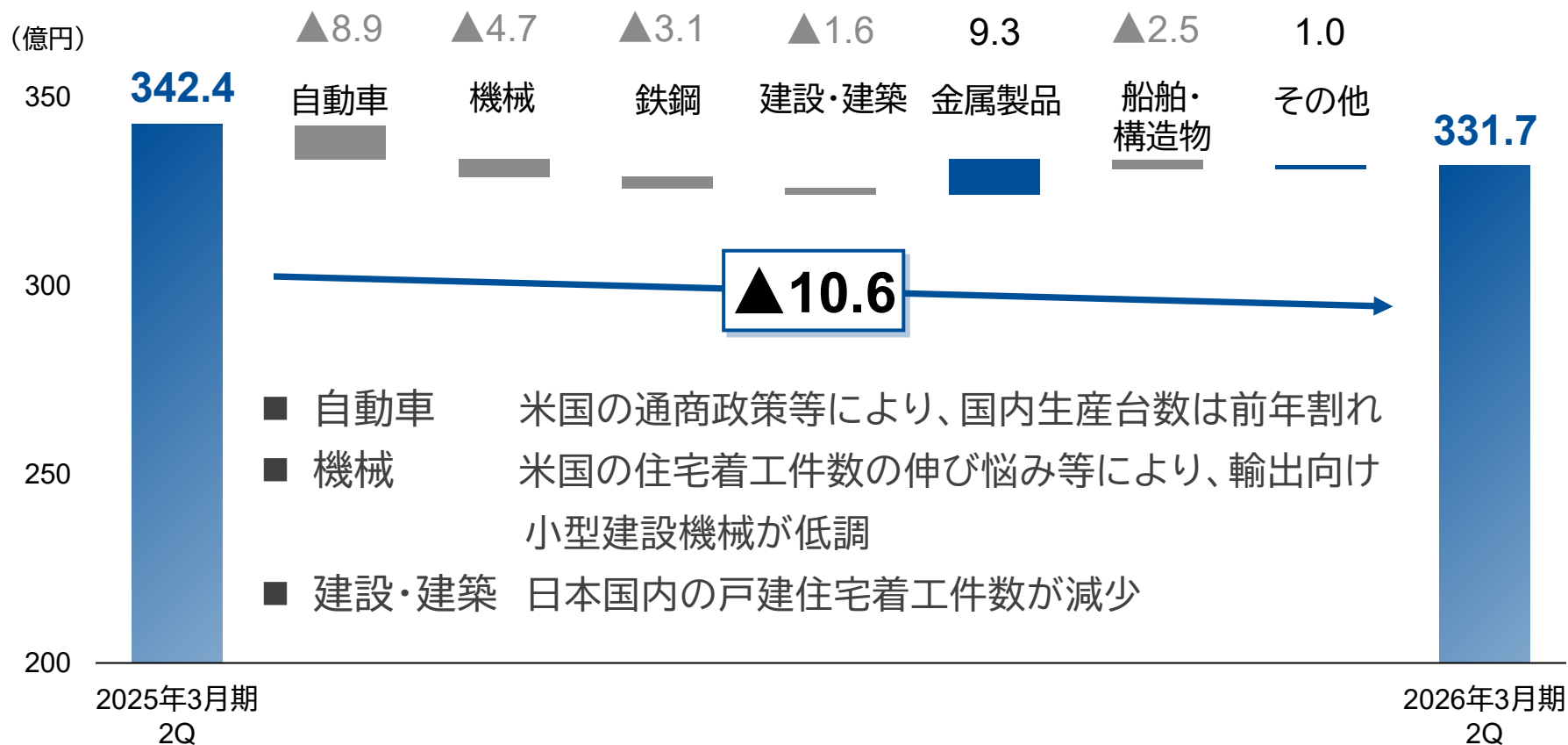
## エレクトロニクス関連事業

カーナビゲーション向けソフトウェアや車載用タッチパネルの販売減により  
前年同期比で売上高は減少するも、車載向けセンサーやモーターコントローラの  
受注拡大等により増益



# 業種別売上高の増減(前期比)

金属製品については、大型塗装設備完工により増加



# 連結貸借対照表

(百万円)

|             | 2025年3月期末 | 2026年3月期2Q末   | 増減額(増減率)        |
|-------------|-----------|---------------|-----------------|
| 流動資産        | 29,945    | <b>27,763</b> | ▲ 2,181(▲7.3%)  |
| 固定資産        | 15,874    | <b>16,267</b> | + 392(+ 2.5%)   |
| 有形固定資産      | 3,628     | <b>3,593</b>  | ▲ 35(▲1.0%)     |
| 無形固定資産      | 294       | <b>244</b>    | ▲ 49(▲16.9%)    |
| 投資その他の資産    | 11,951    | <b>12,429</b> | + 477(+ 4.0%)   |
| 資産合計        | 45,820    | <b>44,030</b> | ▲ 1,789(▲3.9%)  |
| 流動負債        | 19,710    | <b>17,628</b> | ▲ 2,082(▲10.6%) |
| 固定負債        | 4,569     | <b>4,718</b>  | + 149(+ 3.3%)   |
| 負債合計        | 24,280    | <b>22,347</b> | ▲ 1,933(▲8.0%)  |
| 株主資本        | 15,617    | <b>15,665</b> | + 47(+ 0.3%)    |
| その他の包括利益累計額 | 5,750     | <b>5,853</b>  | + 103(+ 1.8%)   |
| 非支配株主持分     | 171       | <b>164</b>    | ▲ 6(▲3.9%)      |
| 純資産合計       | 21,539    | <b>21,683</b> | + 144(+ 0.7%)   |
| 負債純資産合計     | 45,820    | <b>44,030</b> | ▲ 1,789(▲3.9%)  |
| 自己資本比率      | 46.6%     | <b>48.9%</b>  | + 2.2pt         |

# 連結キャッシュ・フロー

- ・営業活動: 売上債権の回収サイクル短縮による収入
- ・投資活動: 固定資産の取得等による支出
- ・財務活動: 短期借入金が増加、配当金の支払による支出

|                      | (百万円)          |                |         |
|----------------------|----------------|----------------|---------|
|                      | 2025年<br>3月期2Q | 2026年<br>3月期2Q | 増減額     |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー | ▲36            | 1,605          | + 1,642 |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー | ▲89            | ▲110           | ▲21     |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー | ▲951           | ▲257           | + 694   |
| 現金及び現金同等物の<br>中間期末残高 | 5,396          | 7,717          | + 2,321 |

---

### 3. 中期経営計画 M/P24-26 の進捗

---

# 10年後の目指す姿

グローバルブランド



の樹立

ブランドを支える  
「柱」

- ▶ 信用力の継続
- ▶ 塗膜形成力の発揮
- ▶ 事業創造への挑戦

柱をつなぐ  
「梁」

- ▶ DX
- ▶ SX
- ▶ 人的資本の充実

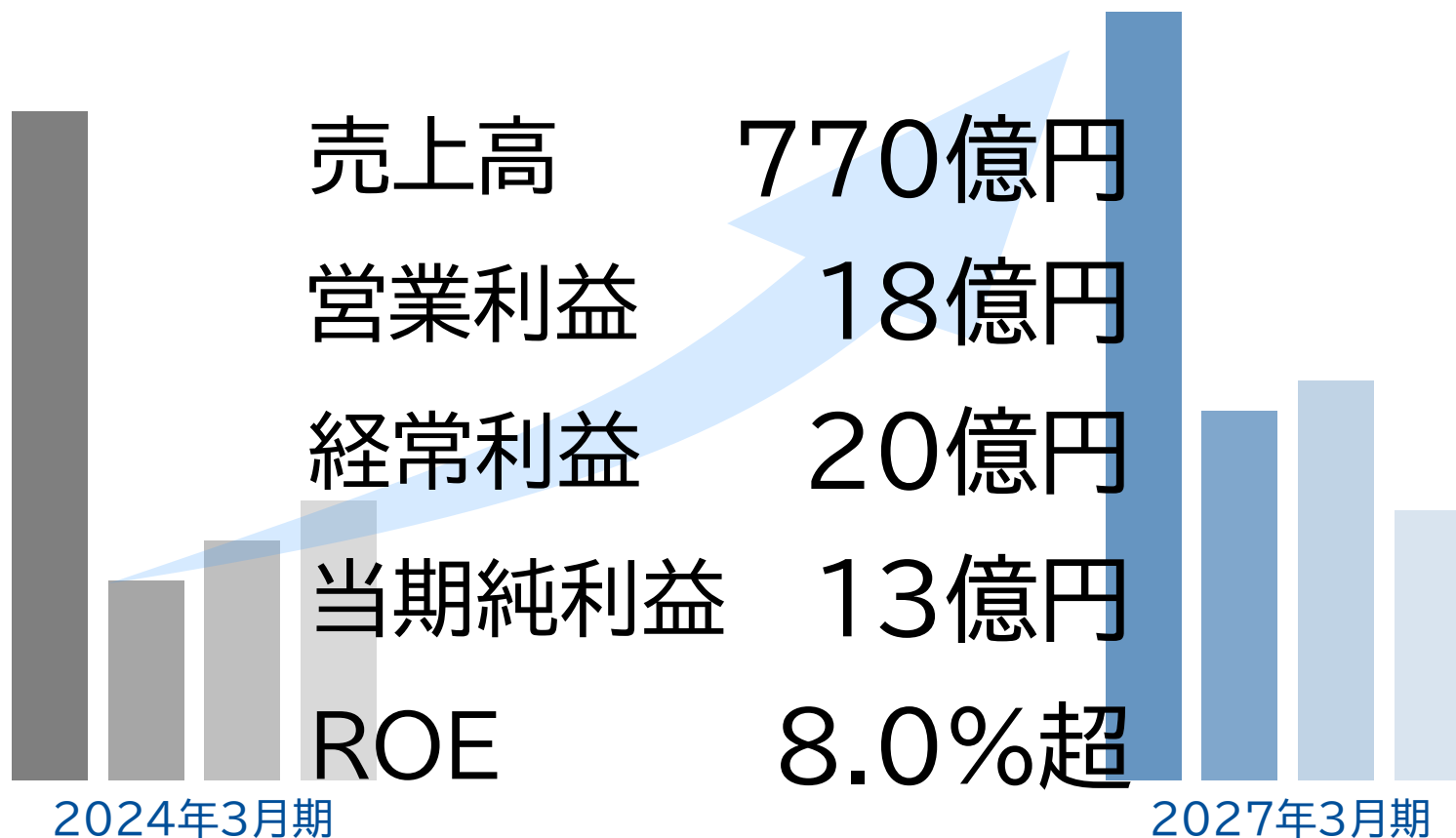


ものづくり現場の発展・進化をリードし、  
持続可能な世界の創造・実現に貢献する

- ものづくり現場の「DX」と「グローバル化」
- 「商材提供」型から、  
「ワンストップソリューション提供」型へ



# 2027年3月期目標(連結)



# 中期重点方針・方策

## コーティング関連事業

### コーティングの未来を創る

- 方策① 塗膜形成力を磨く
- 方策② 新たなコーティングビジネスを企画する

## エレクトロニクス関連事業

### 提供価値を拡大する

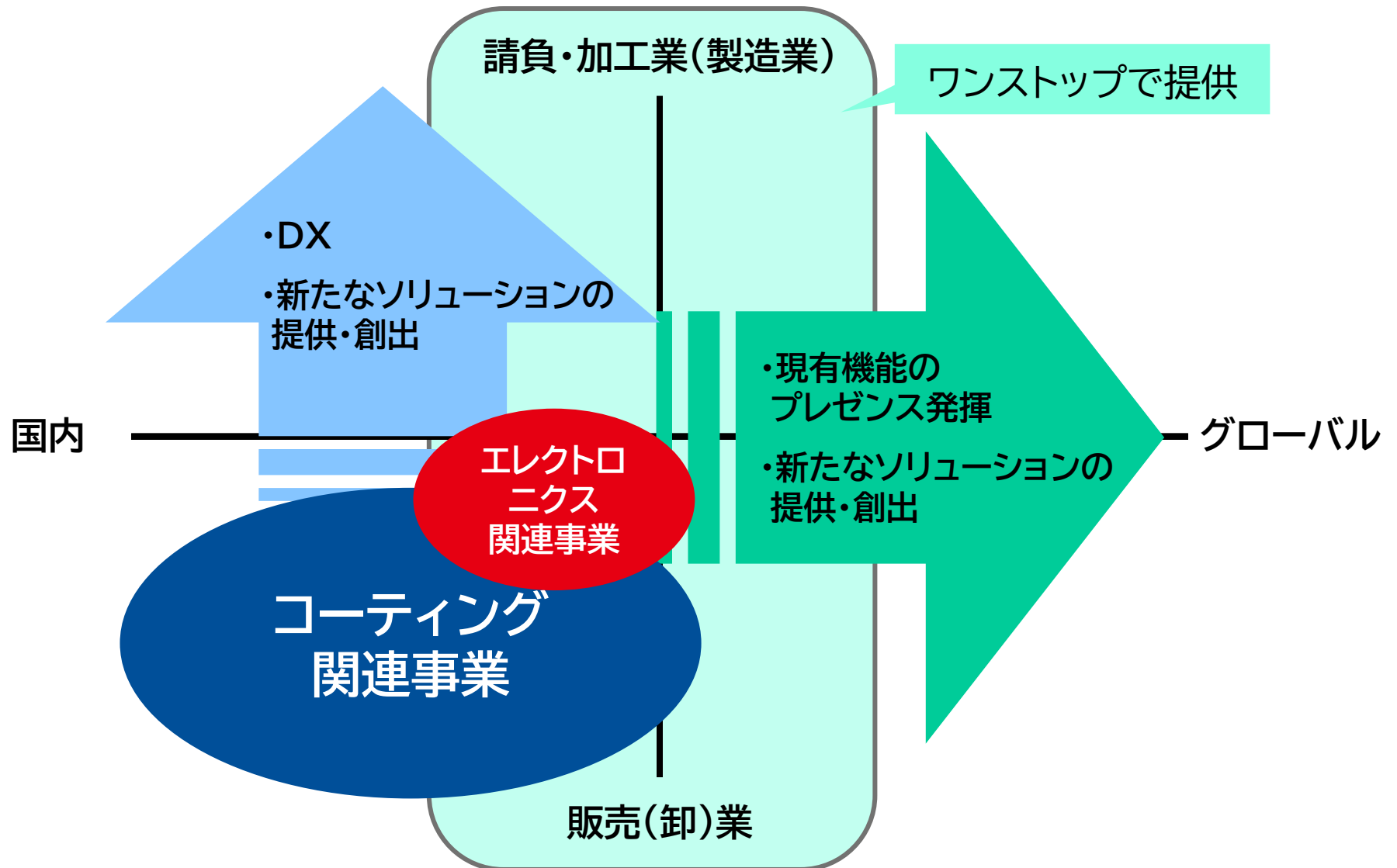
- 方策① センサービジネスを拡大する
- 方策② 新しい機能を付与する

## 経営基盤

### 資本効率を向上する

- 方策① 成長投資を実行する
- 方策② 人的資本を充実する

# 当社グループの事業領域



# 企業価値の向上(PBR1.0倍超)に向けて

## 《目標》 2027年3月期 ROE8.0%超

1

### 成長投資

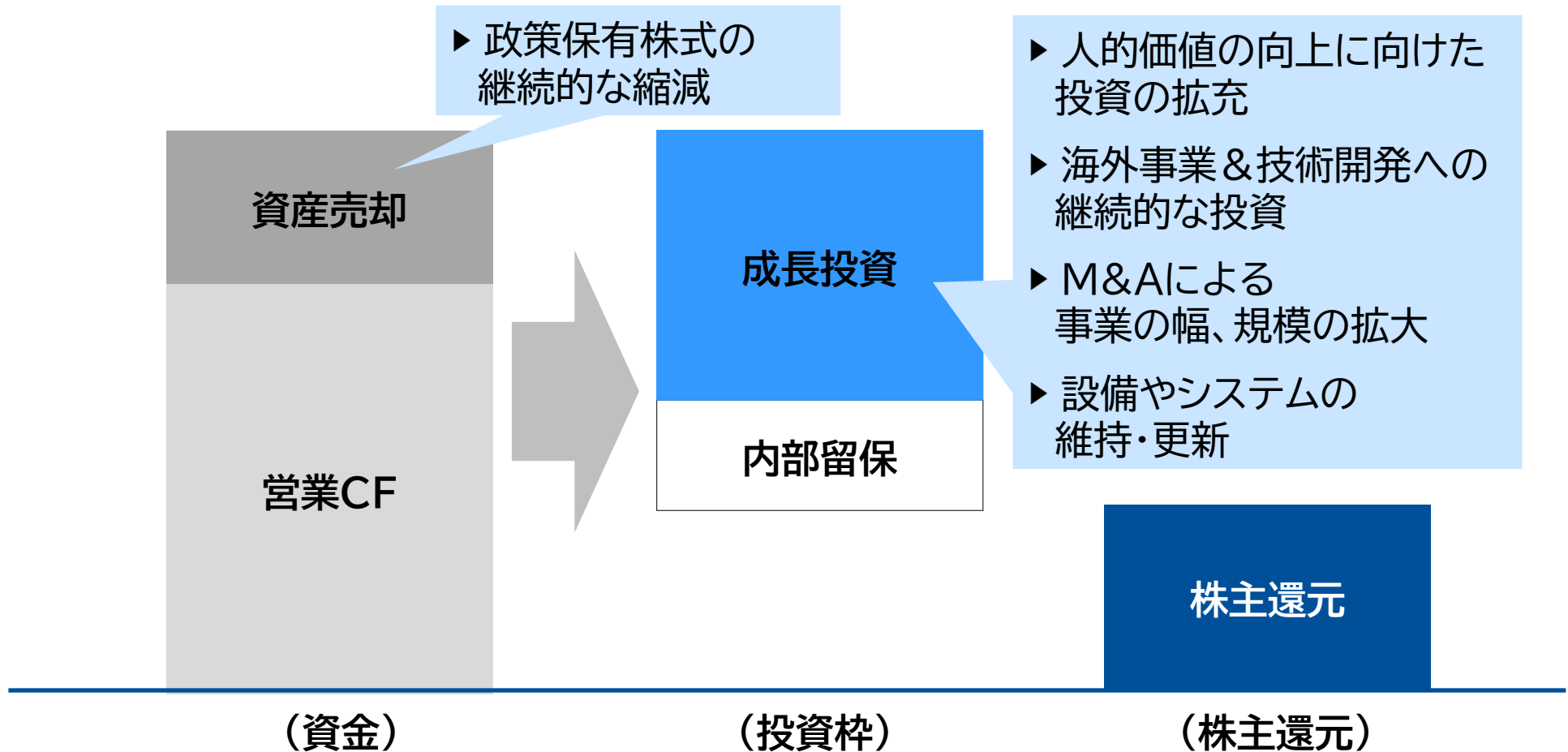
- ・人的価値の向上に向けた投資の拡充
- ・海外事業や技術開発への継続的な投資
- ・M&Aを含む成長事業への投資
- ・既存ビジネスの効率化～稼ぐ力の強化

2

### 財務戦略

- ・政策保有株式の継続的な縮減
- ・内部留保
- ・安定的かつ継続的な配当

# 成長投資、財務戦略の考え方



持続的な成長と企業価値の向上のため、  
財務体質の強化と事業拡大のための内部留保を確保しつつ、  
安定的かつ継続的な配当を実施していく

# 企業価値の向上(PBR1.0倍超)に向けて

1

成長投資

人的価値の向上に向けた  
投資の拡充

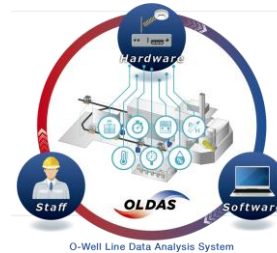


最適な人的ポートフォリオを実現するために  
新たな人事制度を策定中

海外事業や技術開発への  
継続的な投資



OLDAS、リブレット技術の開発への投資



M&Aを含む  
成長事業への投資



- ・コーポレートベンチャーキャピタルファンドを設立
- ・明豊商事(株)の株式取得(子会社化)

既存ビジネスの効率化  
～稼ぐ力の強化



DX委員会を設置し、業務プロセスの変革への取り  
組みを加速

# M&Aを含む成長事業への投資

経営基盤

成長投資を実行する

## 持続的な発展と成長を遂げるための投資

### ■コーポレートベンチャーキャピタルファンドの設立

『MAP Challenge Growth Fund』（マップチャレンジ成長投資事業有限責任組合）

組成日:2025年10月27日

出資の総額:10.05億円

オープンイノベーションの促進を通じて、事業シナジーの獲得を目指す  
スタートアップ企業との協業により、自社の事業に相乗効果をもたらし、  
将来的な業績貢献に寄与する

### ■明豊商事株式会社の株式を取得(100%子会社化)



株式譲渡実行日:2025年10月31日

中期経営計画MAP24-26において、成長投資に掲げる「M&Aによる事業の幅、規模の拡大」のもと、  
コーティング関連事業における国内塗料販売ビジネスの拡大を図る



# 企業価値の向上(PBR1.0倍超)に向けて

2

財  
務  
戦  
略

政策保有株式の  
継続的な縮減



継続的な縮減を検討  
→ 持続的な成長のための投資、株主還元に充当

内部留保



財務体質の強化と事業拡大のために  
内部留保を確保

安定的かつ継続的な配当



「配当」ページ(29ページ)にて

---

## 4. 2026年3月期 連結業績予想と配当

---

# 2026年3月期 連結業績予想

- ・主たるお客様である自動車業界の国内生産台数は前期並み～微減と見込む
- ・前期実績には投資有価証券の売却による特別利益(9.6億円)を含む
- ・大型塗装設備の完工、航空宇宙産業向け取引拡大、モーターコントローラの採用拡大等  
(百万円)

|                     | 2025年3月期<br>実績 | 2026年3月期<br>予想 | 増減額<br>(増減率)        |
|---------------------|----------------|----------------|---------------------|
| 売上高                 | 69,416         | <b>71,000</b>  | + 1,584<br>(+ 2.3%) |
| 営業利益                | 1,239          | <b>1,250</b>   | + 11<br>(+ 0.9%)    |
| 経常利益                | 1,592          | <b>1,500</b>   | ▲92<br>(▲5.8%)      |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1,779          | <b>1,000</b>   | ▲779<br>(▲43.8%)    |
| 一株当たりの<br>当期純利益(円)  | 173.98         | <b>97.75</b>   | ▲76.23<br>(－)       |

# 2026年3月期 連結業績影響要因

## ■大型塗装設備の完工

金属製品のお客様向け塗装設備を受注し、完工



## ■航空宇宙産業向け取引拡大

2020年に航空宇宙品質マネジメントシステム規格である

AS/EN9120(※)認証を取得。航空宇宙産業向けの取引が拡大

※ ISO9001要求事項に航空、宇宙及び防衛分野についての要求事項を追加した、物流業者や商社向けの規格



## ■モーターコントローラの採用拡大

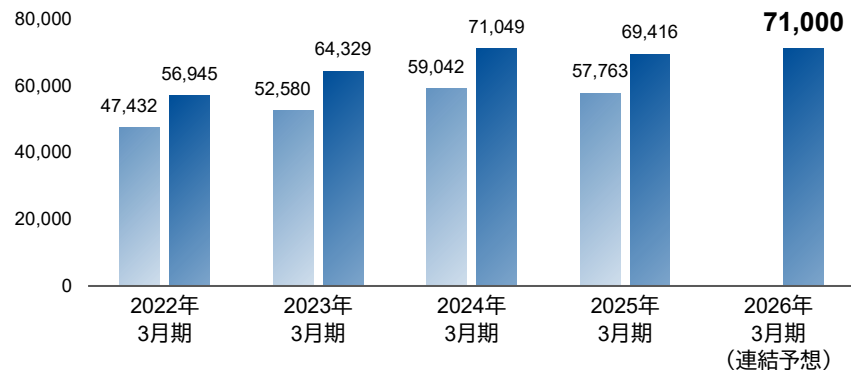
自動車部品メーカーにて2025年7月から量産を開始



# 業績推移

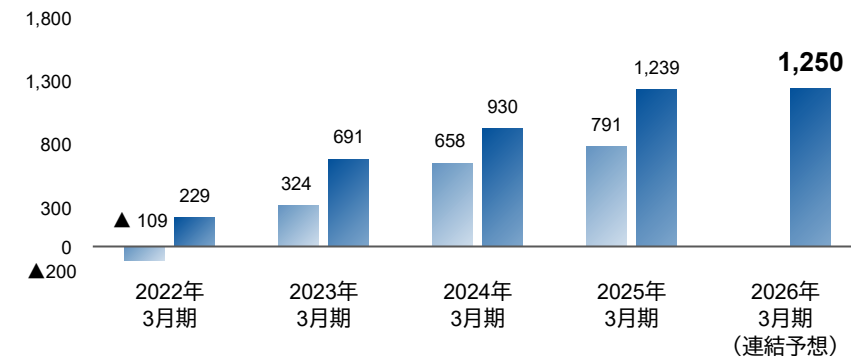
## 売上高

(百万円) ■単体 ■連結



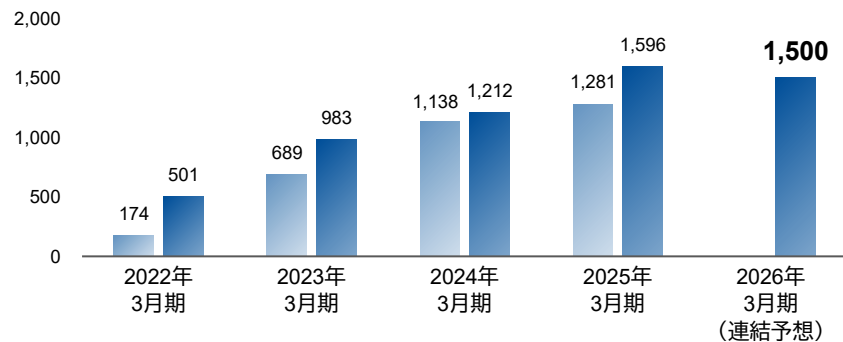
## 営業利益

(百万円) ■単体 ■連結



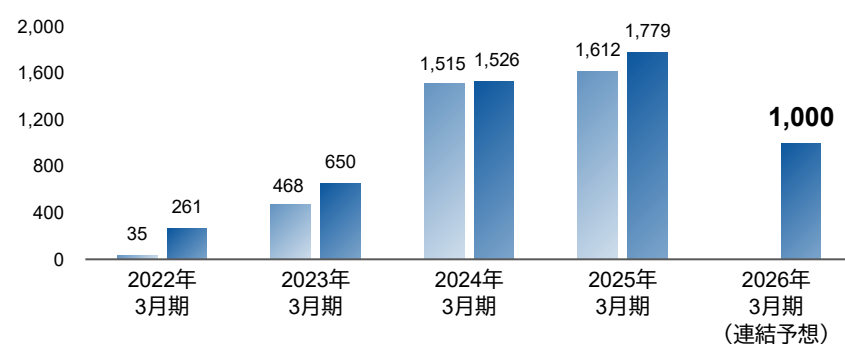
## 経常利益

(百万円) ■単体 ■連結



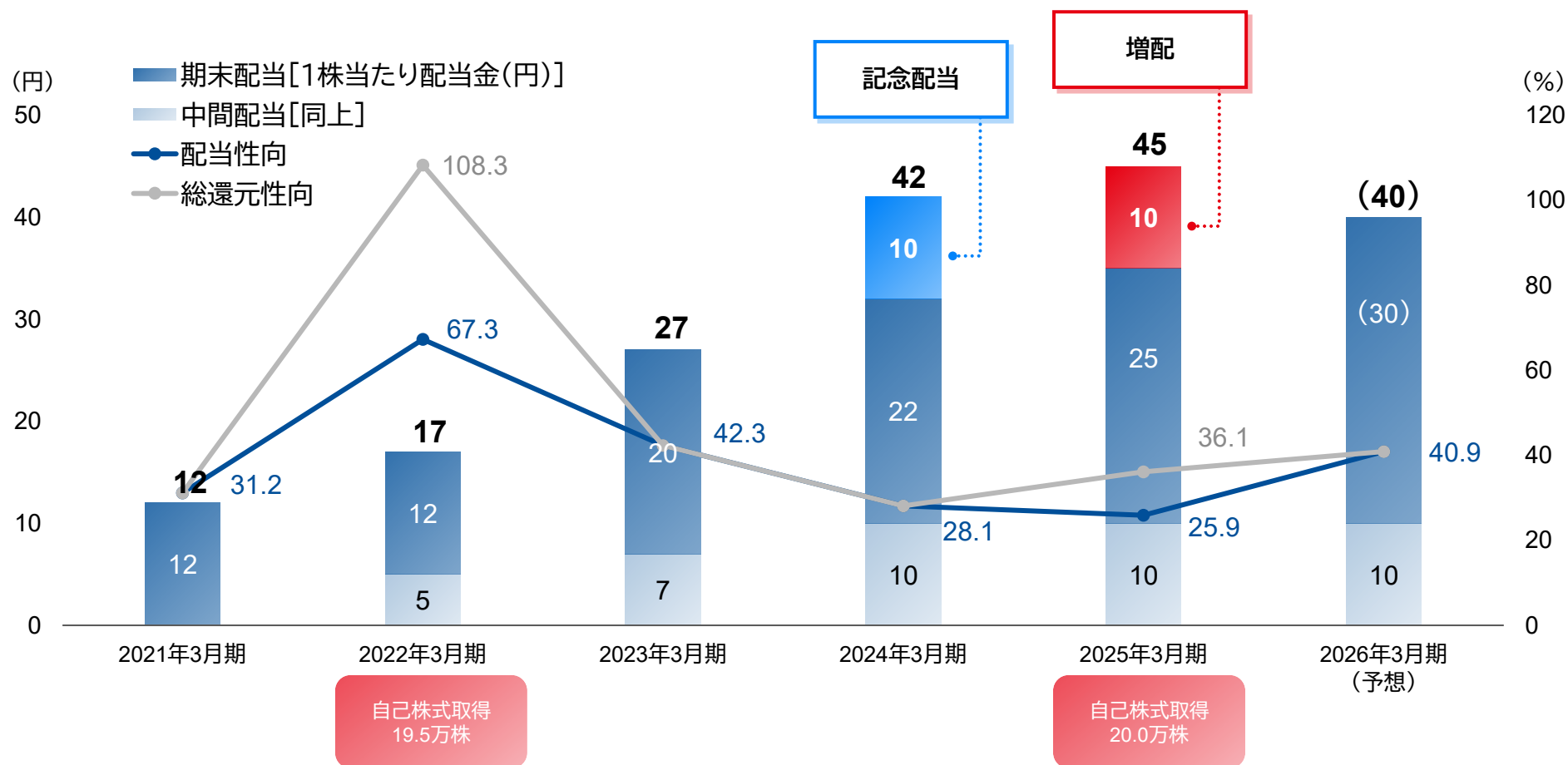
## 親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円) ■単体 ■連結



# 配当

中間配当は10円、期末配当予想は30円とし、年間配当は40円を予想



※2026年3月期予想は、2025年3月期の期末発行済み株式数（自己株式を除く）にて算出

---

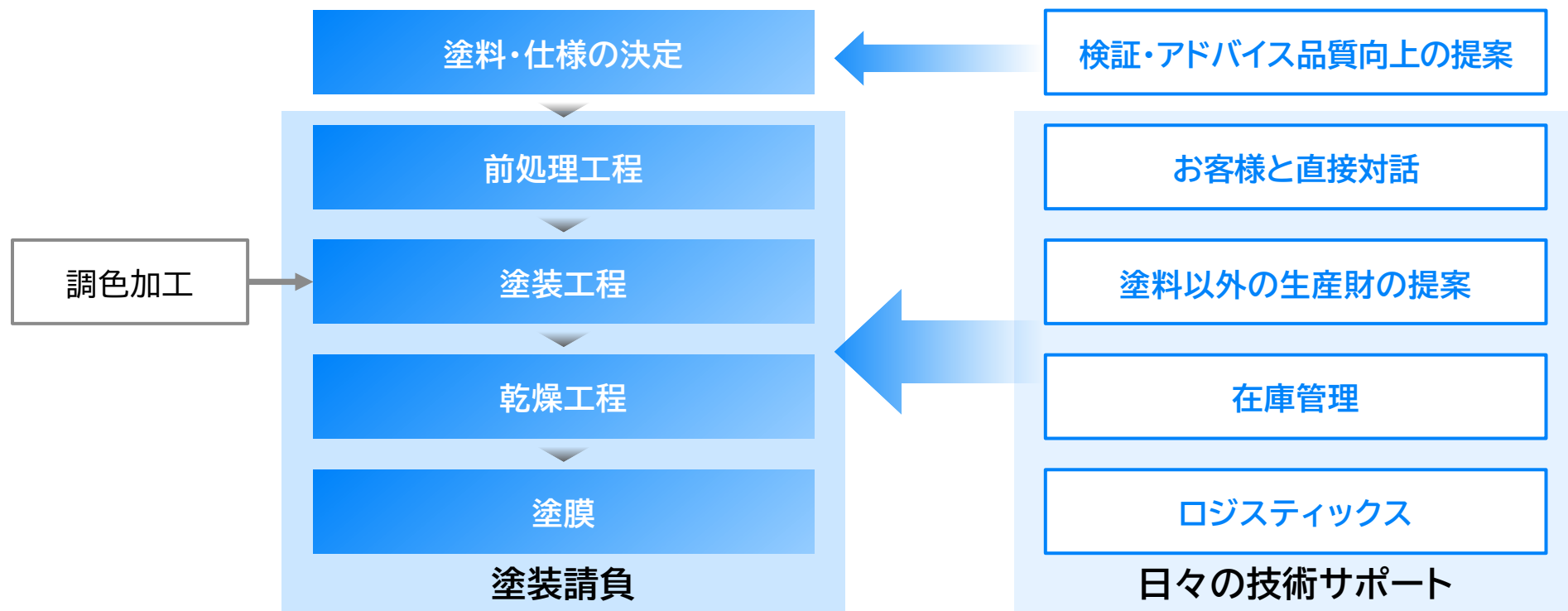
# Appendix

---

# 強み① 商社の枠を超えた事業展開

## コーティング関連事業

商品の仕入れ・販売だけでなく、技術サポートや品質管理など、幅広い工程をカバーするワンストップソリューションを提供

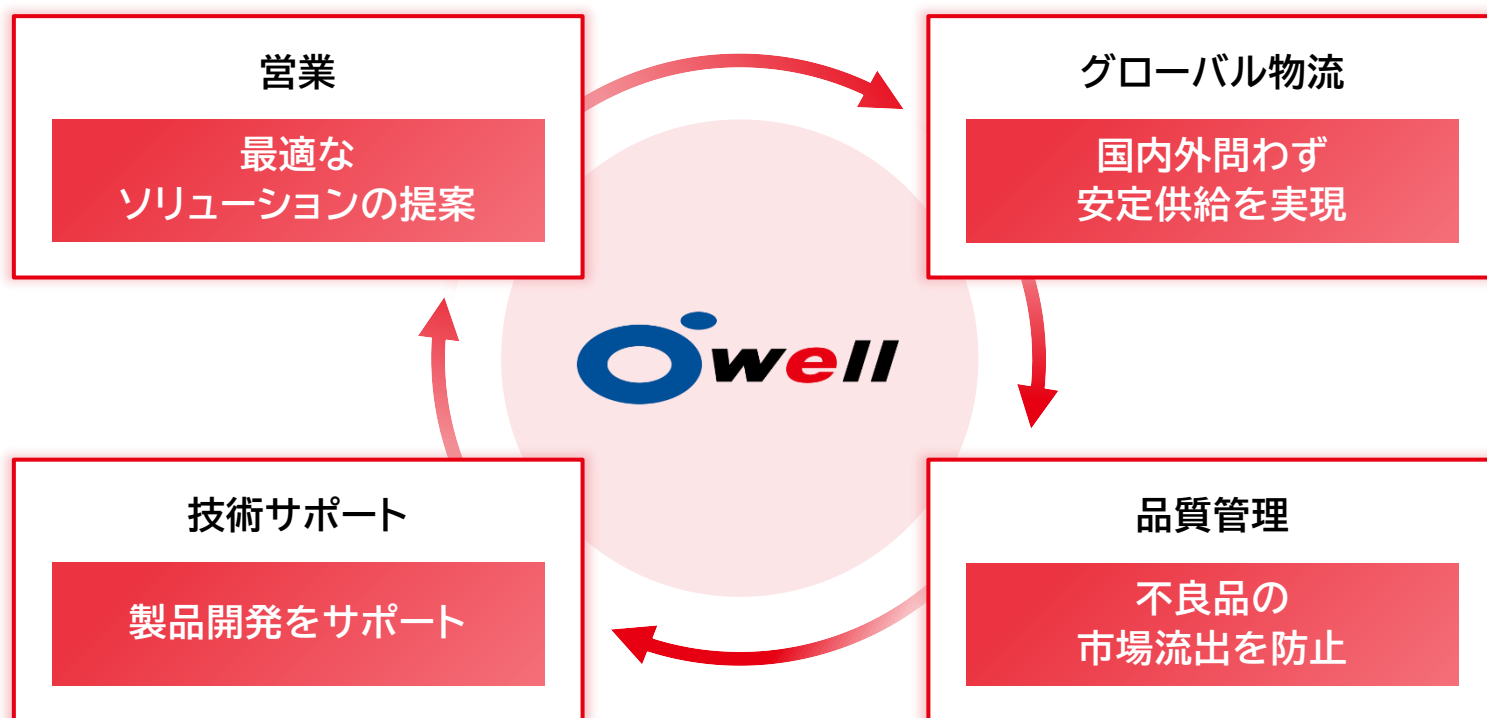




# 強み① 商社の枠を超えた事業展開

## エレクトロニクス関連事業

商品の仕入れ・販売だけでなく、技術サポートや品質管理など、幅広い工程をカバーするワンストップソリューションを提供



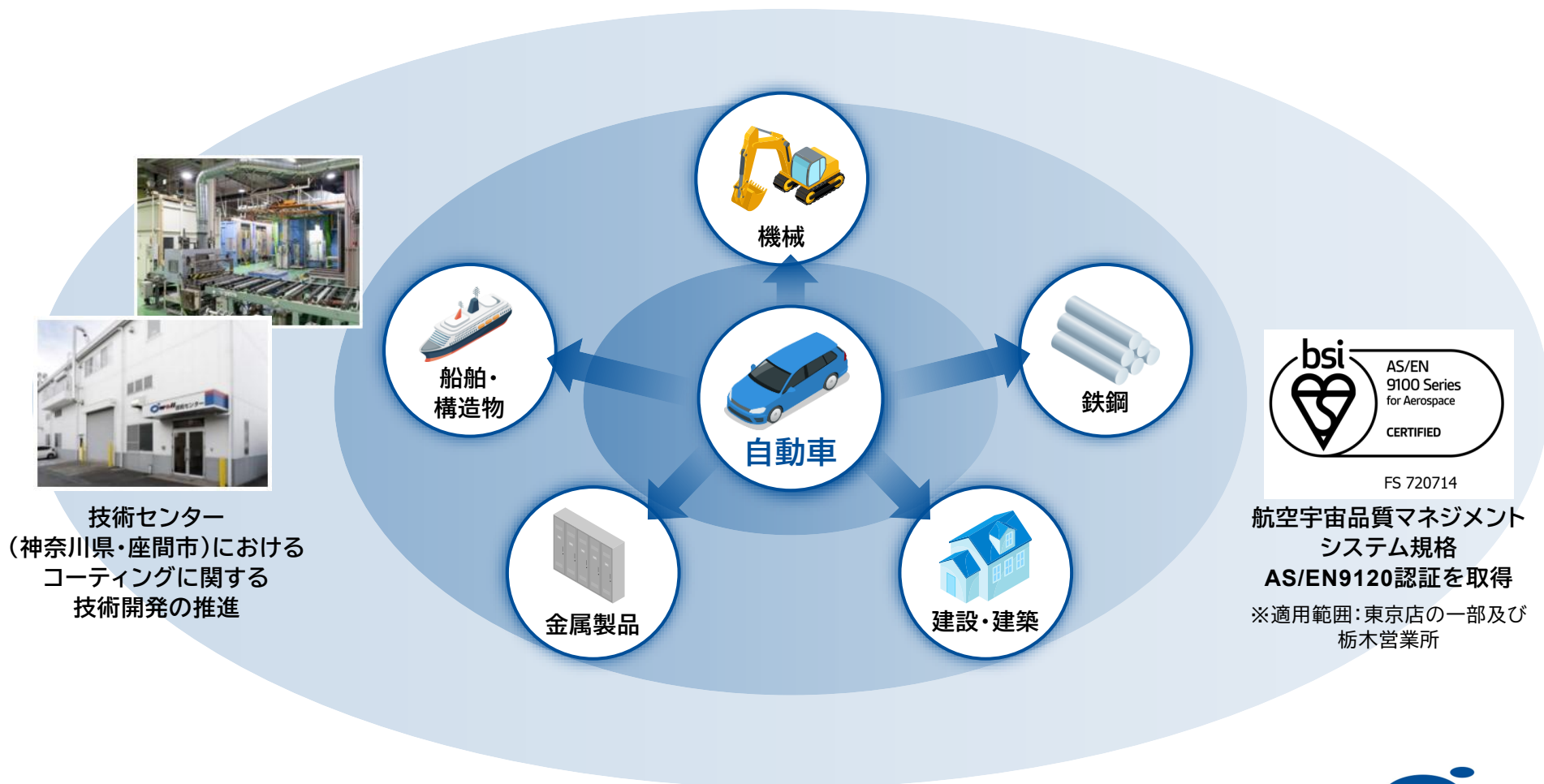
## 強み② 安定した事業基盤

独立系の商社として、特定のメーカーに依存せず幅広い仕入先と連携し、いかなる時も最も適したものを整え、期待に応えることで強固な顧客基盤を構築



# 強み③ 長年培ってきた課題解決力

厳しい水準が求められる自動車業界で培った塗膜形成技術を他業界でも展開  
さまざまな環境・条件においても安定した塗膜品質を提供

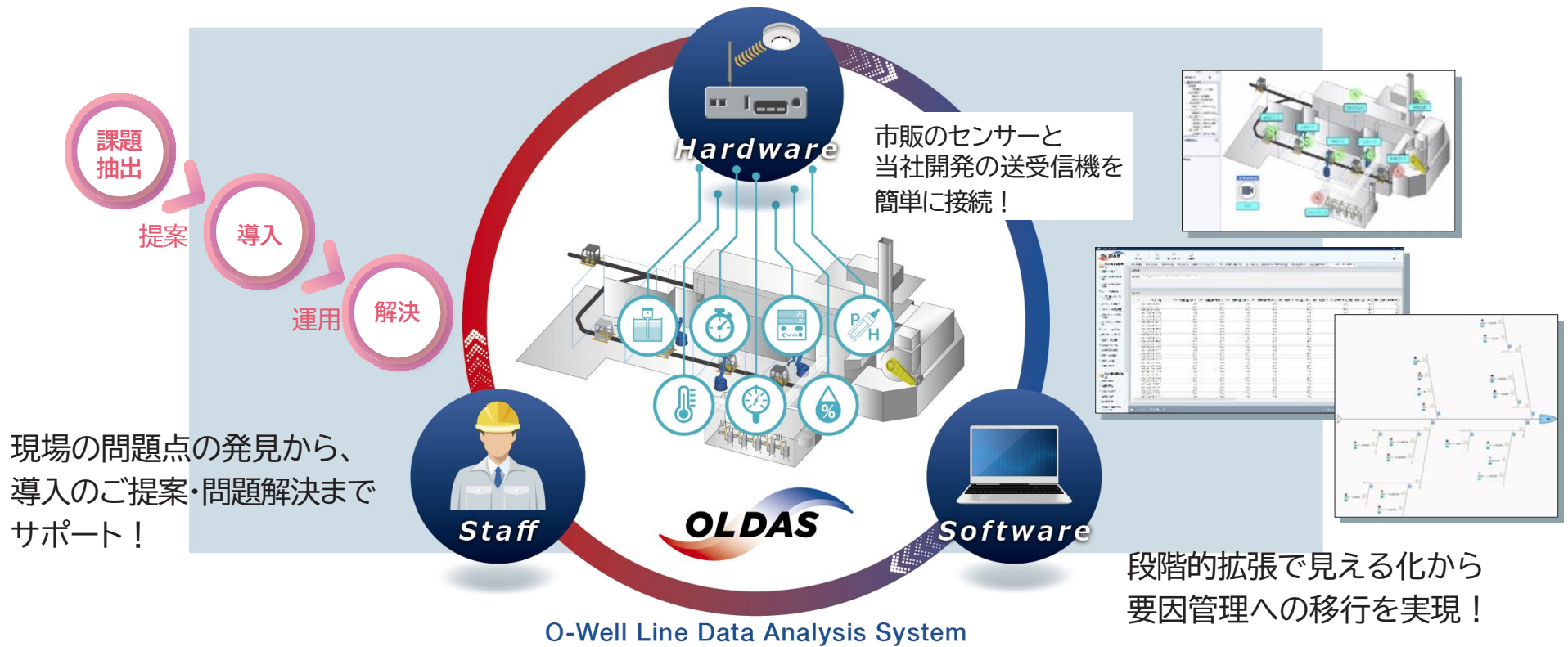


# 取り組み事例①

コーティング関連事業

塗膜形成力を磨く

## OLDAS～塗装現場の高度化と省人化の実現～



OLDASは、技術伝承・生産性向上・省人化といったお客様の抱える課題について、Staff／Hardware／Softwareをワンストップで提供します

# 取り組み事例②

## コーティング関連事業

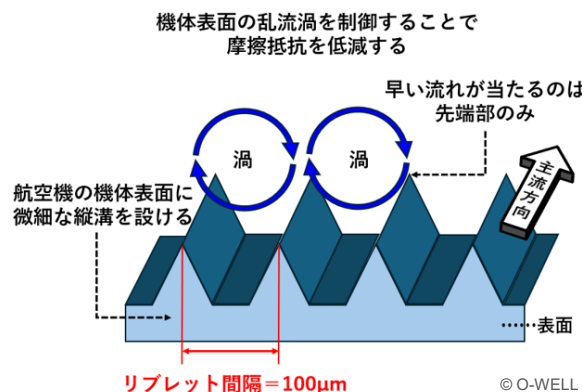
塗膜形成力を磨く

### 独自の塗膜形成技術によるCO2排出量削減への取り組み

- 世界で初めてボーイング787-9型機の機体胴体の大部分にリブレット形状を施工（2025年1月10日付開示）  
2025年1月18日、リブレット形状を施した機体として世界で初めて国際線の就航を開始
- 「日本航空宇宙学会 技術賞」受賞を受賞（2025年4月10日付開示）  
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）、株式会社 JAL エンジニアリングとの共同受賞



リブレット施工作業風景



リブレット効果 イメージ図



「日本航空宇宙学会 技術賞」表彰状

当社独自の“塗膜形成技術”を活用し、他業界への用途開発に向けて活動中

# 取り組み事例③

## コーティング関連事業

塗膜形成力を磨く

### 独自の塗膜形成技術により空飛ぶクルマの開発を支援

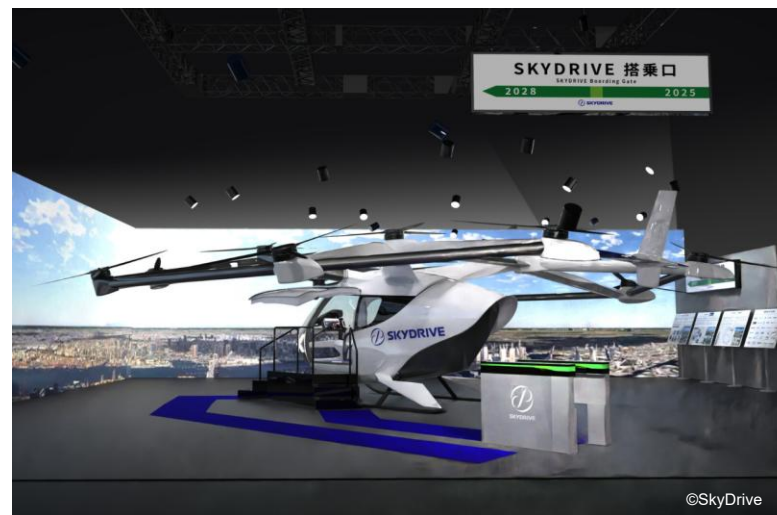
- 塗料・塗装の仕様～技術の確立を加速するため、SkyDrive社とサポーター契約を締結

(2024年3月1日付開示)

日本国際博覧会(大阪・関西万博)、Japan Mobility Show 2025において、  
空飛ぶクルマ「SKYDRIVE」のフルスケールモックを展示



万博会場でのメディアデーでの飛行の様子



Japan Mobility Show2025でのフルスケールモック展示イメージ



# 取り組み事例④

## コーティング関連事業

新たなコーティングビジネスを企画する

### ——— 海外における新ビジネスモデルを確立する ———

#### ■ 日本の品質管理、高付加価値材料の海外展開

インドネシアで日本の品質基準の工事対応を評価され、同国有数の銅精錬所内の高架橋や2kmに及ぶエネルギー配管の塗装工事を受注  
他工場へも推進予定



当社インドネシア現地法人



銅精錬所の外観

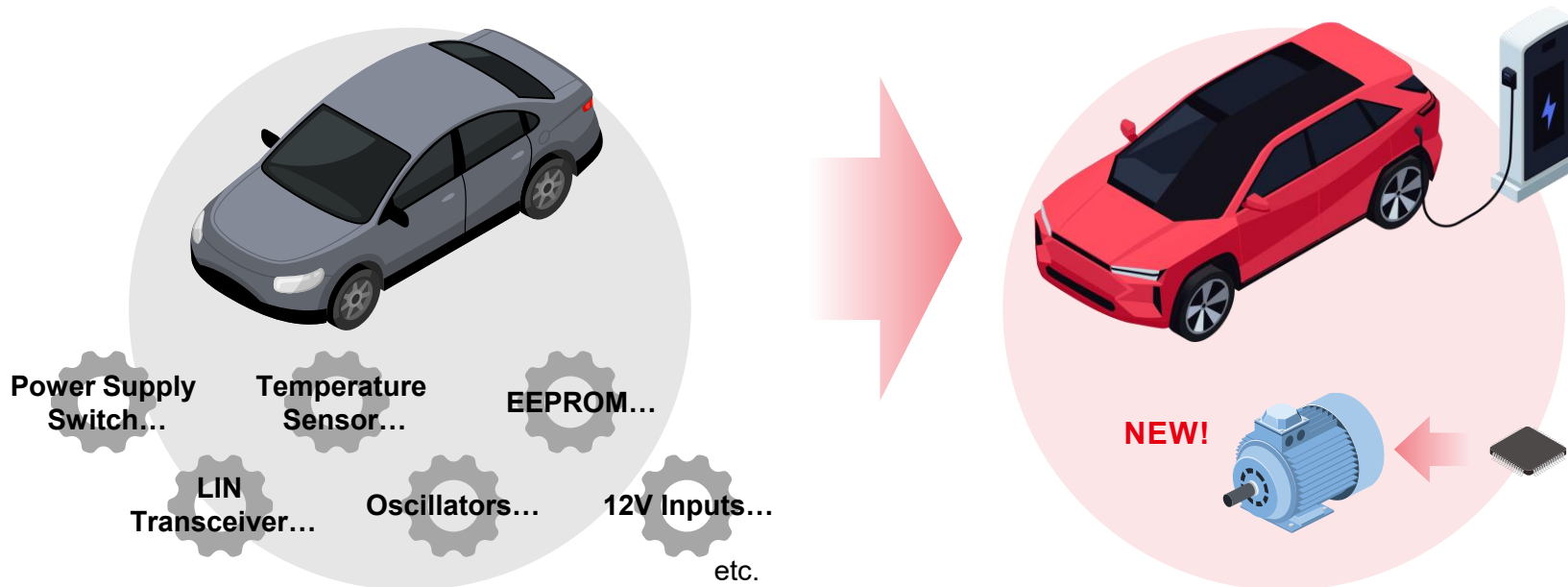
# 取り組み事例⑤

エレクトロニクス関連事業

センサービジネスを拡大する

## —— 車載マーケットに向けたテーマの創出 ——

- 自動運転、電動化の領域で採用が広がるモーターコントローラ テクノロジー  
(モータに小さなICチップを組み込み、制御する技術)
- 周辺回路を内蔵し、小型化・軽量化を実現
- 採用点数が拡大し、本格的な量産のフェーズへ





# 取り組み事例⑥

## 経営基盤

### 人的資本を充実する

## —— 人的資本経営に向けた取り組み ——

### ■ 最適な人的ポートフォリオの実現

人財を企業の資本と捉え、その価値を最大限に引き出すべく、新たな人事制度を策定中

### ■ 社員の心身の健康増進

- ・ 経済産業省 健康経営優良法人2025認定
- ・ スポーツ庁 スポーツエールカンパニー2025認定
- ・ ワークライフマネジメント実現のための制度の整備

育児・介護休業に対する理解促進施策の実施、取得推進のための新制度の検討ほか



# 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

## 免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、オーウエル株式会社(以下、当社という)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済、社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

## 将来見通しに関する注意事項

- 本資料につきましては皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statement)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新、修正を行う義務を負うものではありません。

---

お問い合わせ先

執行役員 総務部・品質保証部担当  
秋谷 浩史



TEL 06-6473-0138

**Ö***well*